

愛知県がんセンター 中央病院・研究所 概要

平成23年度



基本理念

私たちは患者さんの立場にたって、最先端の研究成果と根拠に基づいた最良のがん医療を提供します。

The mission of Aichi Cancer Center is to provide patients suffering from cancer with compassionate care and the best treatment based on evidence and leading-edge cancer research.

基本方針

1. 患者さんの権利と尊厳を守る医療を実践します。
2. 根拠に基づいた良質で安全な医療を提供します。
3. 情報を開示し、医療の透明性と信頼性を保ちます。
4. がんの予防・診断・治療の技術革新を目指した研究を推進します。
5. 教育と研修を充実し、がん医療・研究を担う人材を育成します。
6. 愛知県がん診療連携拠点病院として地域と連携し、がん医療の向上に努めます。
7. がん医療の実践、研究開発、啓発を通じて、愛知県のみならず日本さらには国際社会へ貢献します。

患者さんの権利と病院からのお願い

愛知県がんセンターは、がん専門施設として、最先端で最良のがん医療をみなさんに提供することを使命としています。

ここに、「患者さんの権利と病院からのお願い」を明らかにし、患者さんと病院職員とがお互いに信頼感を持ち、協力してがんに立ち向かうことを宣言します。

患者さんの権利

1. 誰でも良質な医療を平等に受ける権利があります。
2. いかなる状況でも、人格が尊重され、尊厳が保障される権利があります。
3. 十分な説明による理解のもとに、自らが受ける治療に対して意思決定をする権利があります。
4. 自らが受けている医療について、すべてを知る権利があります。
5. すべての個人情報保護される権利があります。
6. 診断や治療方針について、他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

病院からのお願い

1. 快適な療養環境を維持するため、病院の規則をお守りください。
2. ご自分の病状や健康状態を医療従事者に正確にお伝えください。
3. 他の患者さんに迷惑となるような行為や診療の妨げとなるような行為は行わないでください。
4. 診療費は滞ることなくお支払いください。
5. 病院職員と連携して、医療事故の防止にご協力ください。
6. 将来のがん医療を担う医療従事者の教育・研修にご協力ください。
7. がん医療の発展のため、臨床研究にご協力ください。

目 次

目 的	2
経 過	2
設置の根拠	2
施設の概要	3
所在地 土地・建物 中央病院 研究所	
組織と職員定数	8
組織 役職者一覧表 職種別・職員定数一覧表	
管理業務	10
会計予算 がん患者状況 レジデント履修状況等	
主な備品・設備	18
備品 附属設備	
病院業務	19
中央病院の特色等 外来診療経路 患者状況 患者給食実施状況等	
研究業務	27
部別研究課題 共同研究課題等	
類似病院との比較	31
外来診療案内・入院案内	32

目 的

がんは昭和56年に死亡原因の1位となり、その後も年々増加している。わが国におけるがんの対策は、諸外国と同様に、生活習慣病対策のなかで最も重要な国民的課題である。

がんの根本的な制圧のためには、その実態を究明して積極的な予防策を講ずるとともに、早期に適切な診断と治療を行わなければならない。これらのがん対策を推進するためには、がんの基礎的研究部門からはじまる幅広い研究活動と、がんに対する高度な診断・治療の実施のほか、専門技術者の養成や診断技術の普及も必要なことである。

このため国は、昭和37年、東京に国立がんセンターを設置したが、これと呼応して愛知県においても、この種の専門施設の少ない東海地方に病院と研究所を併有した愛知県がんセンターを設置し、がん制圧の重要な拠点とすることにした。

経 過

昭和36年 1月12日	愛知県がん対策協議会に対し、知事から「悪性新生物の予防及び治療対策」について諮問
昭和36年 6月19日	同協議会から知事に対し「がん対策の拠点となる、がんセンターを早急に設置する必要がある」旨答申があり、がんセンターの設置を決定
昭和39年10月15日	建物竣工
昭和39年12月 1日	業務開始 病床数 333 床（特別病床32、一般病床269、術後回復病床24、ラジウム病床8）
昭和44年 3月31日	病床22床増床（特別病床）
昭和49年 8月31日	検査診断棟増築工事竣工
昭和57年 3月30日	遺伝子組換え実験室完成
昭和58年11月22日	診療管理棟竣工
昭和63年 8月31日	生物工学総合実験棟竣工
平成 3年12月20日	特殊放射線・診療棟竣工
平成 4年 2月29日	病棟竣工
平成 4年 5月18日	新病院棟業務開始 病床数 500 床（特別病床80、一般病床393、特殊病床27）
平成 6年 3月18日	国際医学交流センター・外来棟竣工
平成 6年 5月24日	国際医学交流センター・外来棟業務開始
平成 7年 6月30日	立体駐車場竣工
平成 7年12月25日	植栽工事（環境整備）完成
平成 9年 3月20日	研究所代替施設改修工事竣工
平成12年 3月10日	特定承認保険医療機関 承認
平成14年 1月11日	新研究所棟竣工
平成14年 2月 7日	（名称変更）新研究所棟→研究所棟本館、診療管理棟→研究所棟北館
平成14年 4月 1日	臨床研修病院の指定
平成14年 8月13日	地域がん診療拠点病院の指定
平成16年 4月 1日	地方公営企業法の全部適用
平成16年 9月27日	病院機能評価の認定（Ver.4.0）
平成17年 4月 1日	愛知病院（岡崎市、病床数306床）を統合
平成18年 9月21日	医療法人名古屋放射線診断財団とPET-CT検査診療所整備運営等に関する基本協定書締結
平成19年 1月31日	都道府県がん診療連携拠点病院の指定
平成21年 9月27日	病院機能評価の認定（Ver.6.0）
平成22年 4月 1日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新
平成22年10月 1日	尾張診療所（一宮市）開設

設置の根拠

設立当初・愛知県がんセンター条例（昭和39年条例第60号）

運用部、病院、研究所の3部門を設置

現 在・愛知県病院事業の設置等に関する条例（昭和41年条例第36号）

業務の内容

- ア 悪性新生物に関する診断及び治療を行うこと
- イ 悪性新生物に関する予防、診断及び治療についての調査研究を行うこと
- ウ 悪性新生物に関する技術者の研修を行うこと
- エ 悪性新生物に関する調査研究を行う者に施設を利用させること

施設の概要

所在地

名古屋市千種区鹿子殿1番1号

(平成23年4月1日現在)



土地・建物

(平成23年4月1日現在)

区分		構造・規模	延床面積
土地			49,788.56 m ²
建物	合計		71,935.58 m ²
	病棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上9階 塔屋2階	28,662.79 m ²
	特殊放射線・診療棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上5階	12,274.96 m ²
	国際医学交流センター・外来棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階	7,203.43 m ²
	研究所棟本館	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上6階	7,112.72 m ²
	研究所棟北館	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 塔屋1階	3,244.43 m ²
	生物工学総合実験棟	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 塔屋1階	2,116.03 m ²
	危険物倉庫	鉄筋コンクリート造 地上1階	52.20 m ²
	看護師宿舎	鉄筋コンクリート造 地上4階 塔屋1階 2棟	3,352.33 m ²
	車庫・公舎	鉄筋コンクリート造 地上3階	313.92 m ²
	職員公舎	鉄筋コンクリート造 地上3階 2棟	712.56 m ²
	立体駐車場	鉄筋コンクリート造2層建	6,526.47 m ²
	その他	ごみ集積場・保管庫等	363.74 m ²

中央病院

(平成 23 年 4 月 1 日現在)

(東) 病 棟 (西)

		内 容	病床数	階 別	内 容	病床数
		機械室		塔屋	機械室	
		特別病棟 (混合)	25床	9 階	特別病棟 (混合)	25床
		特別病棟 (混合)	30床	8 階	一般病棟 (放射線診断・IVR科、放 射線治療科、泌尿器科)	50床
		一般病棟 (消化器内科・消化器外科)	50床	7 階	一般病棟 (消化器外科・消化器内科)	50床
		一般病棟 (呼吸器内科、整形外科)	50床	6 階	一般病棟 (血液・細胞療法科、薬物療 法科)	49床
空調機械室	小線源病棟 (放射線治療科) (4床)	一般病棟 (頭頸部外科、放射線 治療科) (46床)	50床	5 階	一般病棟 (婦人科、乳腺科、放射線 治療科)	50床
手術部門		ICU病棟 血液管理部門	21床	4 階	一般病棟 (胸部外科、呼吸器内科、 薬物療法科)	50床
臨床検査部門、相談支援室		アイソトープ検査部門 管理部門 (看護部)		3 階	管理部門 (総長室、病院長室等)	
放射線診断部門		内視鏡部門 生理検査部門		2 階	管理部門 (医局等)	
中央滅菌材料室、供給部門		憩いのフロアー、アトリウム (食堂、売店、理髪店等)		1 階	入院受付 管理部門 (運用部等)	
放射線治療部門、電気室		給食部門		地階	中央監視室、熱源機械室	

(病床合計 500床)

国際医学交流センター・外来棟

階 別	内 容
3 階	外科系診察室、臨床検査部門(一部)、外来手術室・処置室等
2 階	総合案内、外来受付、予約受付、内科系診察室、外来化学療法センター、 薬剤部門(薬局受付等)、会計等
1 階	国際医学交流センター(メインホール、大会議室、視聴覚室等)
地 階	薬剤部門(無菌製剤室、供給室等)、カルテ・フィルム庫

都道府県がん診療連携拠点病院

第3次対がん10か年総合戦略においては、全国どこでも質の高いがん医療を受けることができるがん医療の均てん化が戦略目標に掲げられている。この目標達成のために国によって整備が進められることとなったがん診療連携拠点病院について、平成19年1月31日付けで、当院は都道府県がん診療連携拠点病院に指定され、県内の地域がん診療拠点病院を支援することとなった。

併せて、院内に相談支援室(写真)を設け、患者・家族からの相談対応、医療情報の提供を行っている。



外来化学療法センター

平成17年12月に開設した外来化学療法センターは30床で毎月延べ1,600件以上の治療を行うようになり、件数はさらに増加傾向にある。平成18年9月から点滴を主治医制より当番医制へと変更し安全性を確保しながら効率のよい運営を行いつつ、中部地区のがん治療のリーディングセンターとして新たな外来化学療法センターの平成24年度中の竣工・運用開始を予定している。



先進医療

先進医療とは、その有効性及び安全性を確保する観点から、医療技術ごとに一定の施設基準を設け、該当する保険医療機関は、承認申請若しくは届出により、保険診療と併用できる制度である。

愛知県がんセンター中央病院では、①「内視鏡的大腸粘膜下層剥離術」、②「腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る))」、③「胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る))」、④「骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は原発腫瘍(診断の確実なものに限る。))の4つの医療技術について提供している。

今後も当院ならではの先進医療を提供していきたいと考えている。

ネットワーク接続施設

国立がんセンター中央病院を核として、国立7病院と、愛知県がんセンターを始め全国の自治体設立15施設の計22施設をネットワークで結び、各施設間での臨床情報、研究情報及び学術情報の共有化を図るとともに、相互の情報交換によりがん診療や治療技術、研究の向上を図る目的で運営されている。

なお、地方自治体設立のがんセンターとしては、愛知県がんセンターが全国にさきがけてネットワークの一角となっている。

Tomotherapy

平成18年6月から稼動した新しい放射線治療装置Tomotherapyは強度変調放射線治療(IMRT)専用機として開発された。IMRTとは照射口を形成する小さな鉛ブロックを閉鎖して照射野内の線量に濃淡をつけ、これを色々な方向から照射し、合成することにより結果的に放射線の分布を従来の方法よりも改善する方法である。本装置は従来の装置より大幅に小型の放射線発生装置(ライナック)を内蔵し、CTの様に治療用ベッドを可動しながら細いビームで照射する(写真)。

研究所

(平成23年4月1日現在)

研究所棟本館

	フロア	南	北	
	6階	電気室	空調機械スペース	
生物工学総合実験棟	5階	発がん制御研究部	疫学・予防部/中央実験室	研究所棟北館
空調機械スペース	4階	腫瘍免疫学部	腫瘍ウイルス学部	空調機械スペース
感染動物舎 遺伝子実験室 RI実験室	3階	腫瘍病理学部	分子病態学部	研究所員室等 疫学・予防部
管理室 RI実験室	2階	遺伝子医療研究部	分子腫瘍学部	図書室、共同機器室等
清浄動物飼育実験室	1階	共同機器室	臨床研究室	運用部電算機室 その他
空調機械室 電気室	地階	熱源機械室	実験動物飼育実験室	電気室 その他

平成14年1月に竣工した研究所棟本館は、地下1階地上5階（一部6階）、総床面積6,285㎡である。地下1階には通常動物舎および発牛工学動物飼育実験室が設置され、遺伝子改変動物の飼育と遺伝子機能解明のための実験に対応している。1階には管理室や共同機器室が置かれ、2階から5階には8部門の実験室と、各フロア共同のRI実験室や材料保存室が設置されている。

研究所棟北館は地下1階地上3階で、所長室等の管理部門、疫学・予防部のほか図書室、電算室が設置されている。

生物工学総合実験棟は、地下1階地上3階、総床面積2,116㎡の共同利用特殊実験棟として、昭和63年に完成した。1階には清浄動物飼育室と動物実験室が設置され、病原菌感染のない環境下で免疫能の低い特殊なマウスを用いた発がん・制がんの実験が行われている。2階と3階の大部分はR1管理区域に指定され、放射性同位元素を使うがん遺伝子の研究などが展開されている。





共焦点レーザー顕微鏡

共焦点レーザー顕微鏡

レーザー光を対物レンズに通して試料に当てて蛍光を発生させ、焦点での蛍光だけを検出できる高性能蛍光顕微鏡です。従来 of 蛍光顕微鏡に比べて、はるかに高い分解能の断層像が観察でき、連続した断層画像から三次元画像の構築も可能です。

遺伝子多型解析装置

蛍光色素により標識したDNAを検出することにより、遺伝子の個人差を解析する装置。キャピラリー電気泳動方式により、一度に16サンプルを同時に解析できる。一塩基置換、挿入欠失など様々な多型に対応した解析ソフトが用意されている。



遺伝子多型解析装置



フローサイトメーター

フローサイトメーター(2台)

細胞が作っているタンパク質の種類と量を蛍光標識した抗体などを用いて鋭敏に検出する機器。がん細胞、あるいはがん細胞を攻撃する免疫細胞の特性などを明らかにする研究を進めている。

細胞調製施設

細胞治療や遺伝子治療といった、患者さんの細胞を用いた治療の研究を安全で高品質な状態で行うことができる施設。

病院と連携して研究を進めている。



細胞調製施設

組織と職員定数

組 織 (平成 23 年 4 月 1 日現在)



役職者一覧表

(平成23年4月1日現在)

役職名			氏名			備考			
総	長		二村雄次	(事務取扱) 病院事業庁長					
	運用部	運用部長	近藤則和						
		管理課長	石黒孝康						
	中央病院	院長		篠田雅幸					
		副院長		光富徹哉					
				丹羽康正					
		消化器内科部長		山雄健次					
		内視鏡部長		丹羽康正	副院長(兼)				
		呼吸器内科部長		樋田豊明					
		血液・細胞療法部長		木下朝博					
		薬物療法部長		室圭					
		臨床検査部長		谷田部恭	遺伝子病理 診断部長(兼)				
		遺伝子病理診断部長		谷田部恭					
	研究所	輸血部長		木下朝博	血液・細胞 療法部長(兼)				
		頭頸部外科部長		長谷川泰久					
		呼吸器外科部長		光富徹哉	副院長(兼)				
		乳腺科部長		岩田広治					
		整形外科部長		杉浦英志					
		泌尿器科部長		林宣男					
中央病院	婦人科部長		中西透						
	麻酔科部長		細田蓮子	緩和ケア部長(兼)					
	集中治療部長		波戸岡俊三						
	放射線診断・IVR部長		稲葉吉隆						
	放射線治療部長		古平毅						
	外来部長		堀尾芳嗣						
	循環器科部長		波多野潔						
	緩和ケア部長		細田蓮子						
	看護部長		高木仁美						
	薬剤部長		加藤恵一						
	研究所長		田島和雄						
	副所長		瀬戸加大						
	疫学・予防部長		田中英夫						
	腫瘍病理学部長		近藤英作						
研究所	分子腫瘍学部長		関戸好孝						
	遺伝子医療研究部長		瀬戸加大	副所長(兼)					
	腫瘍免疫学部長		葛島清隆						
	腫瘍ウイルス学部長		鶴見達也						
	分子病態学部長		青木正博						
	発がん制御研究部長		稲垣昌樹						

職種別・職員定数一覧表

(平成23年4月1日現在)

職種別	部門別	総数			
		総数	運用部	中央病院	研究所
総	数	655	51	553	51
事	務	28	28		
医	師	113	1	82	30
理	員	12			12
診	技	23		23	
療	師				
放					
射					
線					
技					
師					
理		2		2	
学					
療					
法					
士					
薬		20		20	
劑					
師					
検		29		29	
査					
技					
師					
臨		1		1	
床					
工					
学					
技					
士					
看		389		389	
護		7		7	
助					
師					
手					
栄		3	3		
そ		19	19		
の					
他					
給					
養					
食					
関					
係					
職					
員					
研		9			9
究					
補					
助					

管理業務

会計予算

(収益的收入支出)

(単位 千円)

(款) 項	目	金 額	
		22年度 当初予算	23年度 当初予算
(事業収益)		16,579,699	16,760,568
医業収益		14,746,204	15,049,007
	入院収益	8,129,090	8,232,847
	外来収益	4,316,176	4,457,880
	一般会計負担金	1,255,359	1,308,925
	その他医業収益	1,045,579	1,049,355
医業外収益		1,833,495	1,711,561
	受取利息配当金	533	259
	一般会計負担金	1,445,707	1,482,534
	一般会計補助金	0	0
	国庫補助金	16,411	21,665
	その他医業外収益	370,844	207,103
特別利益	特別利益	0	0
(事業費用)		16,005,110	16,138,252
医業費用		15,759,625	15,932,966
	給与費	7,283,375	7,513,431
	材料費	5,110,837	5,150,534
	経費	2,042,455	2,006,130
	減価償却費	812,114	741,765
	資産減耗費	23,784	50,566
	研究研修費	487,060	470,540
医業外費用		239,485	200,286
	支払利息・企債諸費	165,810	120,929
	繰延勘定償却	32,834	31,443
	雑損失	1,001	1,001
	消費税及び 地方消費税	39,840	46,913
特別損失		0	0
予備費	予備費	6,000	5,000
差引損益		574,589	622,316

(資本的収入支出)

(単位 千円)

(款) 項	目	金 額	
		22年度 当初予算	23年度 当初予算
(資本的収入)		926,864	1,471,988
企業債	企業債	470,000	1,020,000
国庫支出金	国庫補助金	0	0
他会計出資金	一般会計出資金	0	0
他会計負担金	一般会計負担金	440,864	435,988
雑収入	雑収入	16,000	16,000
(資本的支出)		1,271,821	1,816,816
建設改良費		123,467	282,288
	建設費	41,397	191,984
	改良費	82,070	90,304
資産購入費		408,996	805,607
	医療器械購入費	408,896	805,507
	備品購入費	100	100
企業債償還金	企業債償還金	739,358	728,921
収 支		△ 344,957	△ 344,828

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は過年度分の留保資金で充当する。

経営状況

(単位 千円)

区 分	18	19	20	21	22	
収入	13,319,286	13,800,334	14,223,220	14,899,595	16,184,062	
内 訳	入院収益	6,592,584	6,600,105	6,666,217	7,138,036	7,805,576
	外来収益	3,130,271	3,487,354	3,840,227	4,205,727	4,130,729
	一般会計負担金	2,738,288	2,693,357	2,679,734	2,522,624	2,701,066
	その他	858,143	1,019,518	1,037,042	1,033,208	1,546,691
支出	13,142,411	13,725,410	14,010,290	14,348,315	15,114,357	
内 訳	給与費	5,828,124	6,158,947	6,359,683	6,570,234	7,131,720
	その他	7,314,287	7,566,463	7,650,607	7,778,081	7,982,637
差引損益	176,875	74,924	212,930	551,280	1,069,705	
実質損益	△ 2,561,413	△ 2,618,433	△ 2,466,804	△ 1,971,344	△ 1,631,361	

(注1) 実質損益は一般会計負担金の投入がなかったと仮定した場合の損益をいう。

(注2) 税抜き

がん患者状況(院内登録)

年次別・部位別がん患者数(男女計) 1964 — 2009

がんの部位 区分 (ICD10)	全部位 (C00~D09)	食道 がん (C15)	胃がん (C16)	結腸 がん (C18)	直腸 がん (C19~C21)	肝臓 がん (C22)	頭頸部 のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33, C34)	乳房がん (C50)	子宮 がん (C53~C55 C58)	泌尿器 のがん (C60~C68)	甲状腺 がん (C73)	悪性リ ンパ腫 (C82, C84 C85, C96)	白血病 (C91~C95)	その他 のがん
昭和39年(1964)	65	2	18	0	2	0	11	5	10	10	2	0	0	0	5
昭和40年(1965)	1,437	43	506	20	58	16	109	99	167	245	19	13	4	19	119
昭和41年(1966)	1,606	51	549	28	68	20	145	101	207	257	19	19	6	17	119
昭和42年(1967)	1,525	40	525	32	62	25	136	114	156	263	24	13	4	12	119
昭和43年(1968)	1,485	36	448	25	49	23	125	115	191	291	23	21	9	20	109
昭和44年(1969)	1,571	42	488	20	68	21	131	120	203	286	19	22	9	10	132
昭和45年(1970)	1,567	48	437	36	62	27	124	124	222	287	21	20	7	23	129
昭和46年(1971)	1,639	45	438	32	59	37	149	125	228	303	21	30	10	12	150
昭和47年(1972)	1,659	46	427	40	70	30	155	152	242	297	20	19	6	17	138
昭和48年(1973)	1,497	41	390	32	73	28	116	132	191	284	12	26	14	13	145
昭和49年(1974)	1,364	54	348	36	61	9	113	121	224	222	14	25	6	9	122
昭和50年(1975)	1,427	38	375	42	65	13	100	133	214	243	9	28	5	19	143
昭和51年(1976)	1,326	39	352	32	92	25	66	119	202	236	12	18	11	2	120
昭和52年(1977)	1,286	37	327	49	85	14	62	111	201	215	8	20	7	15	135
昭和53年(1978)	1,391	53	345	42	74	15	69	133	231	212	15	24	8	9	161
昭和54年(1979)	1,358	36	336	53	49	28	82	132	241	197	12	21	34	9	128
昭和55年(1980)	1,377	45	334	55	71	23	68	136	289	164	15	26	31	15	105
昭和56年(1981)	1,363	43	326	48	73	32	48	143	302	162	16	22	29	11	108
昭和57年(1982)	1,332	34	295	49	69	26	68	151	316	170	9	14	27	13	91
昭和58年(1983)	1,405	49	297	76	85	25	72	154	300	161	12	19	34	13	108
昭和59年(1984)	1,362	41	306	72	67	27	63	139	331	134	6	15	29	16	116
昭和60年(1985)	1,482	35	297	77	77	37	86	157	364	140	12	19	50	3	128
昭和61年(1986)	1,396	37	311	54	74	43	67	134	326	149	8	22	52	6	113
昭和62年(1987)	1,384	34	268	68	74	34	74	156	337	139	14	20	38	10	118
昭和63年(1988)	1,421	39	275	105	57	28	81	167	348	147	6	18	40	11	99
平成元年(1989)	1,261	32	272	64	54	32	86	151	269	141	7	28	32	10	83
平成2年(1990)	1,280	39	246	82	72	45	96	125	243	151	8	30	39	7	97
平成3年(1991)	1,262	39	217	99	68	39	64	134	276	168	6	22	34	9	87
平成4年(1992)	1,344	46	224	84	64	32	94	169	275	175	8	38	30	6	99
平成5年(1993)	1,464	48	261	125	74	62	88	184	300	143	10	26	39	8	96
平成6年(1994)	1,469	62	264	100	84	42	94	180	298	152	24	23	45	3	98
平成7年(1995)	1,463	46	249	111	74	49	113	178	287	106	57	24	36	1	132
平成8年(1996)	1,462	51	202	96	66	49	124	200	290	106	74	29	32	7	136
平成9年(1997)	1,598	43	235	110	67	60	144	219	307	129	61	23	24	9	167
平成10年(1998)	1,684	56	250	120	68	67	134	246	296	144	68	30	31	11	163
平成11年(1999)	1,810	66	245	101	84	64	141	277	364	116	73	30	29	11	209
平成12年(2000)	1,812	65	252	113	63	55	168	275	309	136	74	27	38	13	224
平成13年(2001)	1,922	114	242	122	94	58	158	291	326	153	71	44	38	10	201
平成14年(2002)	2,049	106	257	134	110	61	198	314	314	141	88	44	40	10	232
平成15年(2003)	2,085	113	242	150	110	54	201	305	293	144	116	43	46	7	261
平成16年(2004)	2,162	130	270	131	108	61	203	297	295	174	115	52	41	7	278
平成17年(2005)	2,223	139	286	147	147	73	206	317	296	143	102	36	42	5	284
平成18年(2006)	2,192	146	304	144	155	55	193	307	285	117	156	43	53	5	229
平成19年(2007)	2,359	152	295	154	152	61	178	332	329	152	138	50	57	5	304
平成20年(2008)	2,079	103	283	135	130	28	124	262	339	148	132	46	44	3	302
平成21年(2009)	2,709	150	292	159	157	68	241	367	412	224	218	47	33	0	341
合計	72,414	2,754	14,406	3,604	3,645	1,721	5,368	8,303	12,446	8,277	1,954	1,229	1,273	451	6,983

※平成8年までは、ICD9による集計

年次別・部位別がん患者割合(%) (男女計) 1964 — 2009

がんの部位 区分 (ICD10)	全部位 (C00~D09)	食道がん (C15)	胃がん (C16)	結腸がん (C18)	直腸がん (C19~C21)	肝臓がん (C22)	頭頸部 のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33, C34)	乳房がん (C50)	子宮 がん (C53~C55 C58)	泌尿器 のがん (C60~C68)	甲状腺 がん (C73)	悪性リ ンパ腫 (C82, C84 C85, C96)	白血病 (C91~C95)	その他 のがん
昭和39年(1964)	100.0	3.1	27.6	0.0	3.1	0.0	16.9	7.7	15.4	15.4	3.1	0.0	0.0	0.0	7.7
昭和40年(1965)	100.0	3.0	35.2	1.4	4.0	1.1	7.6	6.9	11.6	17.1	1.3	0.9	0.3	1.3	8.3
昭和41年(1966)	100.0	3.2	34.2	1.7	4.2	1.2	9.0	6.3	12.9	16.0	1.2	1.2	0.4	1.1	7.4
昭和42年(1967)	100.0	2.6	34.4	2.1	4.1	1.6	8.9	7.5	10.2	17.2	1.6	0.9	0.3	0.8	7.8
昭和43年(1968)	100.0	2.4	30.2	1.7	3.3	1.6	8.4	7.7	12.9	19.6	1.6	1.4	0.6	1.3	7.3
昭和44年(1969)	100.0	2.7	31.1	1.3	4.3	1.3	8.4	7.6	12.9	18.2	1.2	1.4	0.6	0.6	8.4
昭和45年(1970)	100.0	3.1	27.9	2.3	4.0	1.7	7.9	7.9	14.2	18.3	1.3	1.3	0.4	1.5	8.2
昭和46年(1971)	100.0	2.7	26.7	2.0	3.6	2.3	9.1	7.6	13.9	18.5	1.3	1.8	0.6	0.7	9.2
昭和47年(1972)	100.0	2.8	25.7	2.4	4.2	1.8	9.3	9.2	14.6	17.9	1.2	1.2	0.4	1.0	8.3
昭和48年(1973)	100.0	2.7	26.1	2.1	4.9	1.9	7.7	8.8	12.8	19.0	0.8	1.7	0.9	0.9	9.7
昭和49年(1974)	100.0	4.0	25.5	2.6	4.5	0.7	8.3	8.9	16.4	16.3	1.0	1.8	0.4	0.7	8.9
昭和50年(1975)	100.0	2.7	26.3	2.9	4.6	0.9	7.0	9.3	15.0	17.0	0.6	2.0	0.4	1.3	10.0
昭和51年(1976)	100.0	2.9	26.6	2.4	6.9	1.9	5.0	9.0	15.2	17.8	0.9	1.4	0.8	0.2	9.0
昭和52年(1977)	100.0	2.9	25.4	3.8	6.6	1.1	4.8	8.6	15.6	16.7	0.6	1.6	0.5	1.2	10.5
昭和53年(1978)	100.0	3.8	24.8	3.0	5.3	1.1	5.0	9.6	16.6	15.2	1.1	1.7	0.6	0.6	11.6
昭和54年(1979)	100.0	2.7	24.7	3.9	3.6	2.1	6.0	9.7	17.8	14.5	0.9	1.5	2.5	0.7	9.4
昭和55年(1980)	100.0	3.3	24.3	4.0	5.1	1.7	4.9	9.9	21.0	11.9	1.1	1.9	2.2	1.1	7.6
昭和56年(1981)	100.0	3.2	23.9	3.5	5.4	2.3	3.5	10.5	22.2	11.9	1.2	1.6	2.1	0.8	7.9
昭和57年(1982)	100.0	2.6	22.1	3.7	5.2	2.0	5.1	11.3	23.7	12.8	0.7	1.0	2.0	1.0	6.8
昭和58年(1983)	100.0	3.5	21.1	5.4	6.0	1.8	5.1	11.0	21.4	11.5	0.9	1.3	2.4	0.9	7.7
昭和59年(1984)	100.0	3.0	22.5	5.3	4.9	2.0	4.6	10.2	24.3	9.8	0.5	1.1	2.1	1.2	8.5
昭和60年(1985)	100.0	2.4	20.0	5.2	5.2	2.5	5.8	10.6	24.6	9.4	0.8	1.3	3.4	0.2	8.6
昭和61年(1986)	100.0	2.6	22.3	3.9	5.3	3.1	4.8	9.6	23.3	10.7	0.6	1.6	3.7	0.4	8.1
昭和62年(1987)	100.0	2.5	19.4	4.9	5.4	2.5	5.4	11.3	24.3	10.0	1.0	1.4	2.7	0.7	8.5
昭和63年(1988)	100.0	2.7	19.4	7.4	4.0	2.0	5.7	11.7	24.5	10.3	0.4	1.3	2.8	0.8	7.0
平成元年(1989)	100.0	2.5	21.6	5.1	4.3	2.5	6.8	12.0	21.3	11.2	0.6	2.2	2.5	0.8	6.6
平成2年(1990)	100.0	3.1	19.2	6.4	5.6	3.5	7.5	9.8	19.0	11.8	0.6	2.3	3.1	0.5	7.6
平成3年(1991)	100.0	3.1	17.2	7.8	5.4	3.1	5.1	10.6	21.9	13.3	0.5	1.7	2.7	0.7	6.9
平成4年(1992)	100.0	3.4	16.7	6.2	4.8	2.4	7.0	12.6	20.5	13.0	0.6	2.8	2.2	0.4	7.4
平成5年(1993)	100.0	3.3	17.8	8.5	5.0	4.2	6.0	12.6	20.5	9.8	0.7	1.8	2.7	0.5	6.6
平成6年(1994)	100.0	4.2	18.0	6.8	5.7	2.9	6.4	12.2	20.3	10.3	1.6	1.6	3.1	0.2	6.7
平成7年(1995)	100.0	3.1	17.0	7.6	5.1	3.4	7.7	12.2	19.6	7.2	3.9	1.6	2.5	0.1	9.0
平成8年(1996)	100.0	3.5	13.8	6.6	4.5	3.3	8.5	13.7	19.8	7.2	5.1	2.0	2.2	0.5	9.3
平成9年(1997)	100.0	2.7	14.7	6.9	4.2	3.7	9.0	13.7	19.2	8.1	3.8	1.4	1.5	0.6	10.5
平成10年(1998)	100.0	3.3	14.8	7.1	4.0	4.0	8.0	14.6	17.6	8.6	4.0	1.8	1.8	0.7	9.7
平成11年(1999)	100.0	3.7	13.5	5.6	4.6	3.5	7.8	15.3	20.1	6.4	4.0	1.7	1.6	0.6	11.6
平成12年(2000)	100.0	3.6	13.9	6.2	3.5	3.0	9.3	15.2	17.0	7.5	4.1	1.5	2.1	0.7	12.4
平成13年(2001)	100.0	5.9	12.6	6.3	4.9	3.0	8.2	15.1	17.0	8.0	3.7	2.3	2.0	0.5	10.5
平成14年(2002)	100.0	5.2	12.6	6.5	5.4	3.0	9.7	15.3	15.3	6.9	4.3	2.1	2.0	0.5	11.3
平成15年(2003)	100.0	5.4	11.5	7.2	5.3	2.6	9.6	14.6	14.1	6.9	5.6	2.1	2.2	0.3	12.5
平成16年(2004)	100.0	6.0	12.5	6.1	5.0	2.8	9.4	13.7	13.6	8.1	5.3	2.4	1.9	0.3	12.9
平成17年(2005)	100.0	6.3	12.9	6.6	6.6	3.3	9.3	14.3	13.3	6.4	4.6	1.6	1.9	0.2	12.8
平成18年(2006)	100.0	6.7	13.9	6.6	7.1	2.5	8.8	14.0	13.0	5.3	7.1	2.0	2.4	0.2	10.4
平成19年(2007)	100.0	6.4	12.5	6.5	6.4	2.6	7.5	14.1	13.9	6.4	5.8	2.1	2.4	0.2	12.9
平成20年(2008)	100.0	5.0	13.6	6.5	6.3	1.3	6.0	12.6	16.3	7.1	6.4	2.2	2.3	0.1	14.5
平成21年(2009)	100.0	5.5	10.8	5.9	5.8	2.5	8.9	13.5	15.2	8.3	8.1	1.7	1.2	0.0	12.6
合計	100.0	3.8	19.9	5.0	5.0	2.4	7.4	11.5	17.2	11.4	2.7	1.7	1.8	0.6	9.6

※平成8年までは、ICD9による集計

登録(診断)年次別がん患者の生存数(男女計) 1964 — 2008

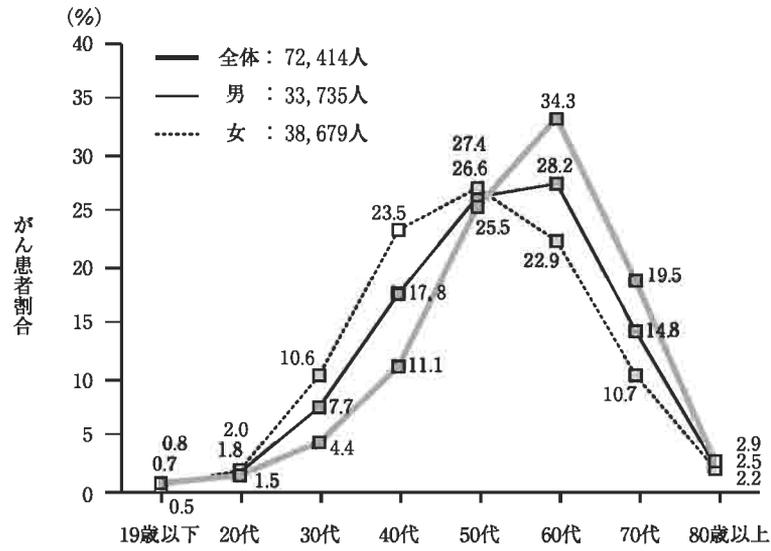
登録(診断)年	症例数	経過年数					
		1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年(1964)	65	38	33	31	26	23	15
昭和40年(1965)	1,437	801	637	572	541	508	414
昭和41年(1966)	1,606	965	764	673	640	613	507
昭和42年(1967)	1,525	915	708	619	576	551	443
昭和43年(1968)	1,485	940	746	662	617	582	472
昭和44年(1969)	1,571	981	788	697	630	593	502
昭和45年(1970)	1,567	1,019	803	724	671	629	536
昭和46年(1971)	1,639	1,049	850	768	701	642	535
昭和47年(1972)	1,659	1,104	907	820	753	713	593
昭和48年(1973)	1,497	1,010	844	748	707	667	561
昭和49年(1974)	1,364	948	769	684	638	597	497
昭和50年(1975)	1,427	963	776	704	659	634	553
昭和51年(1976)	1,326	924	755	673	636	602	503
昭和52年(1977)	1,286	908	736	677	630	599	521
昭和53年(1978)	1,391	979	811	742	689	654	550
昭和54年(1979)	1,358	985	822	749	701	669	574
昭和55年(1980)	1,377	1,005	843	775	720	684	582
昭和56年(1981)	1,363	1,016	856	775	737	692	582
昭和57年(1982)	1,332	986	845	763	726	698	564
昭和58年(1983)	1,405	1,048	882	798	734	700	593
昭和59年(1984)	1,362	1,035	873	792	741	709	602
昭和60年(1985)	1,482	1,177	1,007	905	841	810	696
昭和61年(1986)	1,396	1,094	946	857	808	771	648
昭和62年(1987)	1,384	1,100	948	862	787	749	631
昭和63年(1988)	1,421	1,140	991	904	856	829	712
平成元年(1989)	1,261	985	861	800	766	739	624
平成2年(1990)	1,280	1,041	898	839	796	761	661
平成3年(1991)	1,262	1,049	917	846	799	760	661
平成4年(1992)	1,344	1,099	955	887	849	815	698
平成5年(1993)	1,464	1,193	1,037	941	894	858	726
平成6年(1994)	1,469	1,206	1,075	993	930	894	767
平成7年(1995)	1,463	1,190	1,032	935	878	850	718
平成8年(1996)	1,462	1,201	1,054	947	907	859	729
平成9年(1997)	1,598	1,336	1,146	1,041	980	940	750
平成10年(1998)	1,684	1,367	1,198	1,096	1,031	980	768
平成11年(1999)	1,810	1,470	1,271	1,163	1,099	1,056	976
平成12年(2000)	1,812	1,492	1,294	1,195	1,118	1,054	969
平成13年(2001)	1,922	1,557	1,372	1,259	1,176	1,114	465
平成14年(2002)	2,049	1,682	1,447	1,299	1,222	1,181	
平成15年(2003)	2,085	1,719	1,485	1,375	1,278	1,310	
平成16年(2004)	2,162	1,830	1,570	1,434	1,440	1,357	
平成17年(2005)	2,223	1,849	1,619	1,719	1,613	1,507	
平成18年(2006)	2,192	2,070	2,024	1,839	1,722		
平成19年(2007)	2,359	2,027	1,941	1,836			
平成20年(2008)	2,356	1,941	1,405				

登録(診断)年次別がん患者の実測生存率* (%) (男女計) 1964 — 2008

*Kaplan-Meier法による

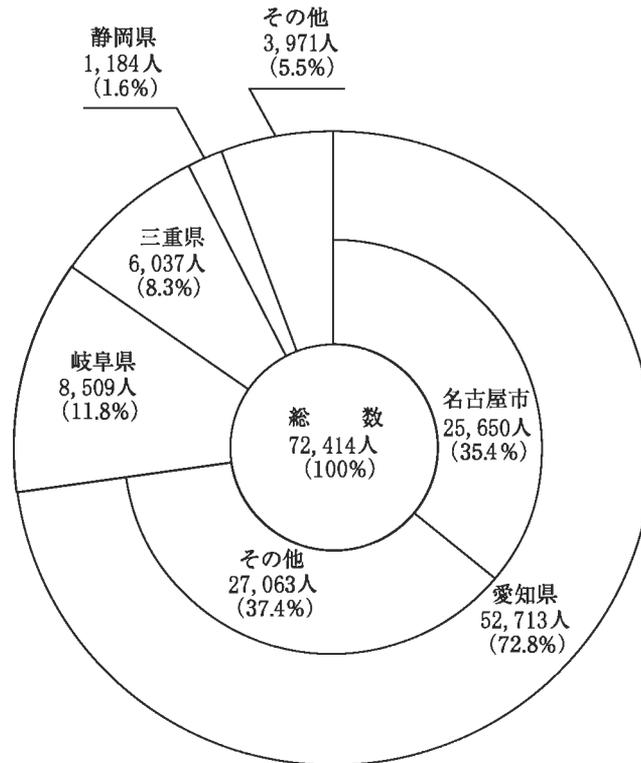
登録(診断)年	経過年数					
	1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年(1964)	58.5	50.8	47.7	40.0	35.4	23.1
昭和40年(1965)	55.7	44.3	39.8	37.6	35.4	28.8
昭和41年(1966)	60.1	47.6	41.9	39.9	38.2	31.6
昭和42年(1967)	60.0	46.4	40.6	37.8	36.1	29.0
昭和43年(1968)	63.3	50.2	44.6	41.5	39.2	31.8
昭和44年(1969)	62.4	50.2	44.4	40.1	37.7	32.0
昭和45年(1970)	65.0	51.2	46.2	42.8	40.1	34.2
昭和46年(1971)	64.0	51.9	46.9	42.8	39.2	32.6
昭和47年(1972)	66.5	54.7	49.4	45.4	43.0	35.7
昭和48年(1973)	67.5	56.4	50.0	47.2	44.6	37.5
昭和49年(1974)	69.5	56.4	50.1	46.8	43.8	36.4
昭和50年(1975)	67.5	54.4	49.3	46.2	44.4	38.8
昭和51年(1976)	69.7	56.9	50.8	48.0	45.4	37.9
昭和52年(1977)	70.6	57.2	52.6	49.0	46.6	40.5
昭和53年(1978)	70.4	58.3	53.3	49.5	47.0	39.5
昭和54年(1979)	72.5	60.5	55.2	51.6	49.3	42.3
昭和55年(1980)	73.0	61.2	56.3	52.3	49.7	42.3
昭和56年(1981)	74.5	62.8	56.9	54.1	50.8	42.7
昭和57年(1982)	74.0	63.4	57.3	54.5	52.4	42.3
昭和58年(1983)	74.6	62.8	56.8	52.2	49.8	42.2
昭和59年(1984)	76.0	64.1	58.1	54.4	52.1	44.2
昭和60年(1985)	79.4	67.9	61.1	56.7	54.7	47.0
昭和61年(1986)	78.4	67.8	61.4	57.9	55.2	46.4
昭和62年(1987)	79.5	68.5	62.3	56.9	54.1	45.6
昭和63年(1988)	80.2	69.7	63.6	60.2	58.3	50.1
平成元年(1989)	78.1	68.3	63.4	60.7	58.6	49.5
平成2年(1990)	81.3	70.2	65.5	62.2	59.5	51.6
平成3年(1991)	83.1	72.7	67.0	63.3	60.2	52.4
平成4年(1992)	81.8	71.1	66.0	63.2	60.6	51.9
平成5年(1993)	81.5	70.8	64.3	61.1	58.6	49.6
平成6年(1994)	82.1	73.2	67.6	63.3	60.9	52.2
平成7年(1995)	81.3	70.5	63.9	60.0	58.1	49.1
平成8年(1996)	82.1	72.1	64.8	62.0	58.8	49.9
平成9年(1997)	83.6	71.7	65.1	61.3	58.8	46.9
平成10年(1998)	81.2	71.1	65.1	61.2	58.2	45.6
平成11年(1999)	81.2	70.2	64.3	60.7	58.3	53.9
平成12年(2000)	82.3	71.4	65.9	61.7	58.2	53.5
平成13年(2001)	81.0	71.4	65.5	61.2	58.0	51.9
平成14年(2002)	82.1	70.6	63.4	59.6	57.6	
平成15年(2003)	82.4	71.2	65.9	61.3	62.8	
平成16年(2004)	84.6	72.6	66.3	66.6	62.8	
平成17年(2005)	83.2	72.8	77.3	72.6	62.8	
平成18年(2006)	94.4	92.3	83.9	69.2		
平成19年(2007)	85.9	82.3	75.1			
平成20年(2008)	88.4	86.0				

がん患者 年齢構成図
(昭和39年12月～平成21年12月)



		19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
男	患者数	270	502	1,477	3,756	8,613	11,557	6,579	981	33,735
	%	0.8	1.5	4.4	11.1	25.5	34.3	19.5	2.9	100.0
女	患者数	207	776	4,097	9,102	10,615	8,864	4,156	862	38,679
	%	0.5	2.0	10.6	23.5	27.4	22.9	10.7	2.2	100.0
計	患者数	477	1,278	5,574	12,858	19,228	20,421	10,735	1,843	72,414
	%	0.7	1.8	7.7	17.8	26.6	28.2	14.8	2.5	100.0

がん患者 県別分布数
(昭和39年12月～平成21年12月)



レジデント履修状況

区分	総数	消化器内科 コース	呼吸器内科 コース	腫瘍内科・血液内科 コース	頭頸部外科 コース	胸部外科・ 乳腺科 コース	消化器外科 コース	婦人科・泌尿器・ 整形外科・形成外科 コース	放射線診断 コース	放射線治療 コース	遺伝子病理 診断コース	麻酔科 コース
61~19年度	536	66	50	18	67	90	93	38	68	279	12	2
20年度	39	5	1	5	4	7	5	3	2	4	3	—
21年度	44	4	—	5	6	9	6	2	4	4	4	—
22年度	38	4	—	5	4	9	6	2	4	3	1	—
総数	657	79	51	33	81	115	110	45	78	290	20	2

リサーチレジデント履修状況

区分	総数	疫学・予防学 コース	腫瘍病理学 コース	分子腫瘍学 コース	遺伝子医療研究 コース	腫瘍免疫学 コース	分子病態学 コース	腫瘍ウイルス学 コース	発がん制御研究 コース	臨床研究基礎 コース
13~19年度	46	2	5	2	3	6	5	9	7	7
20年度	15	1	3	2	2	1	2	2	2	—
21年度	11	1	1	—	2	1	1	2	3	—
22年度	9	1	1	1	2	1	1	1	1	—
総数	81	5	10	5	9	9	9	14	13	7

医療技術者研修受入れ状況

区分	総数	41~17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
総数	5,147	4,555	147	123	132	105	85
医師	3,253	2,931	67	63	63	59	70
診療放射線技師	223	216	3	3	0	1	0
臨床(衛生)検査技師	565	509	19	12	13	8	4
看護師	292	281	0	4	4	2	1
その他	814	618	58	41	52	35	10

図書蔵書状況 (受入数-除籍数=総数)

年度	種類	総数	単行本		専門雑誌	
			洋	和	洋	和
40~19年度受入れ		62,454	11,213	13,824	27,827	9,590
20年度	〃	2,574	163	1,259	415	737
21年度	〃	878	117	662	0	99
22年度	〃	1,247	146	921	0	180
除籍累計		10,990	3,128	3,496	3,395	971
総数		56,163	8,511	13,170	24,847	9,635

主な備品・設備

備品 (平成23年4月1日現在)

(3,000万円以上)

品名	型式	数量
アルゴン色素レーザー装置	※ Ar-dyeレーザー クーパーレーザーソニック	1
診断用X線装置	※ KXO850東芝	1
乳がん検診用画像処理装置	MDR-2 日本アビオニクス	1
細胞自動解析分離装置	※ FACSTAR ベクトンディッキンソン	1
磁気共鳴断層撮影装置	GE 横河メディカルシステム Signa HDxt 3.0T	1
放射線治療管理装置	※ ACCROS 日本電気	1
モニタリングシステム	※ M1166A,MP50他 横河ヒューレットパッカード	1
自動分析装置	※ 7350型 日立製作所	1
自動カート洗浄装置	※ CWR-2500W サクラ精機	1
消化器及び呼吸器用X線TV	DBW-220A,PDS-5,EES-70A 東芝	1
手術室内ITVシステム	※ 特型 ソニー	1
心電図自動解析装置	FCP-800 フクダ電子	1
医局システム机	※ 特型	1
X線TV装置	DBW-220A型 東芝	1
多方向X線撮影装置	※ VS-20 島津	1
集中患者監視システム	CBM-3000CN特型 コーリン電子	1
放射線モニタリングシステム	MSR-500 アロカ	1
手術画像記録システム	※ 特型 ナック	1
カルテ保管庫	※ カルテ管理システム 日本ファイリング	1
注射薬自動払出システム	※ VF-AAD セントラルユニ	1
薬袋印字システム	※ TYS-4 BX 2特型 トーショー	1
リニアアクセラレーター	※ CLINAC2100C バリアン社	1
デジタル画像処理装置	※ DEP-2000A/AS 東芝メディカル	1
中央実験台	※ イトーキ	1
放射線管理総合システム	MSR3000 アロカ	1
動物飼育設備	ダイタン	1
腔内治療装置	マイクロセレクトロンHDRシステム ニュークレトロン社	1
ガンマカメラシステム	Millennium VG GE社	1
全身用X線コンピュータ断層撮影装置	Aquilion Multi 東芝	1
医療用リニアック	※ CLINAC-21EX バリアンメディカルシステムズ	1
全身用X線コンピュータ断層撮影装置	Aquilion 32	1
医療用リニアアクセラレータ	Hi-ARTシステム・Tomo Therapy	1
共焦点レーザー顕微鏡	LSM510MATE-ACC カールツァイス	1
小線源確認写真撮影装置	Cvision PLUS 島津製作所	1
放射線治療位置決め装置	LX-40A 東芝メディカルシステムズ	1
血管造影検査治療システム	Aquilion LB/INFX-8000C 東芝メディカルシステムズ	1
質量分析システム	エービー・サイエックス製 4800 Plus MALDI TOF/TOF Analyzer	1
モニター読影入力システム	富士フイルムメディカル 放射線読影レポートシステム R-Report	1
据置型デジタル式汎用X線撮影装置	富士フイルムメディカル FUJIFILM DR BENE0	1
据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	日立メディコ CUREVISTA	1

(注) ※印の備品は、年金積立金還元融資を受けて購入

附属設備 (平成23年4月1日現在)

設備名	設備機械	数量	設備名	設備機械	数量	設備名	設備機械	数量
空気換気設備	冷凍機	4	電気設備	特高受電用変圧器	2	医療ガス設備	液体酸素貯蔵タンク	1
	ヒートポンプチラー	3		高圧配電用変圧器	47		真空ポンプ(吸引用)	4
	ボイラー	2		発電機	4		液体窒素貯蔵タンク	1
	貫流ボイラー	3		電話交換機	1		純正空気用混合器	1
	冷温水発生器	5		昇降機	20			
	空調機	117						
	送排風機	203						

病院業務 (平成 23 年 4 月 1 日現在)

中央病院の特色

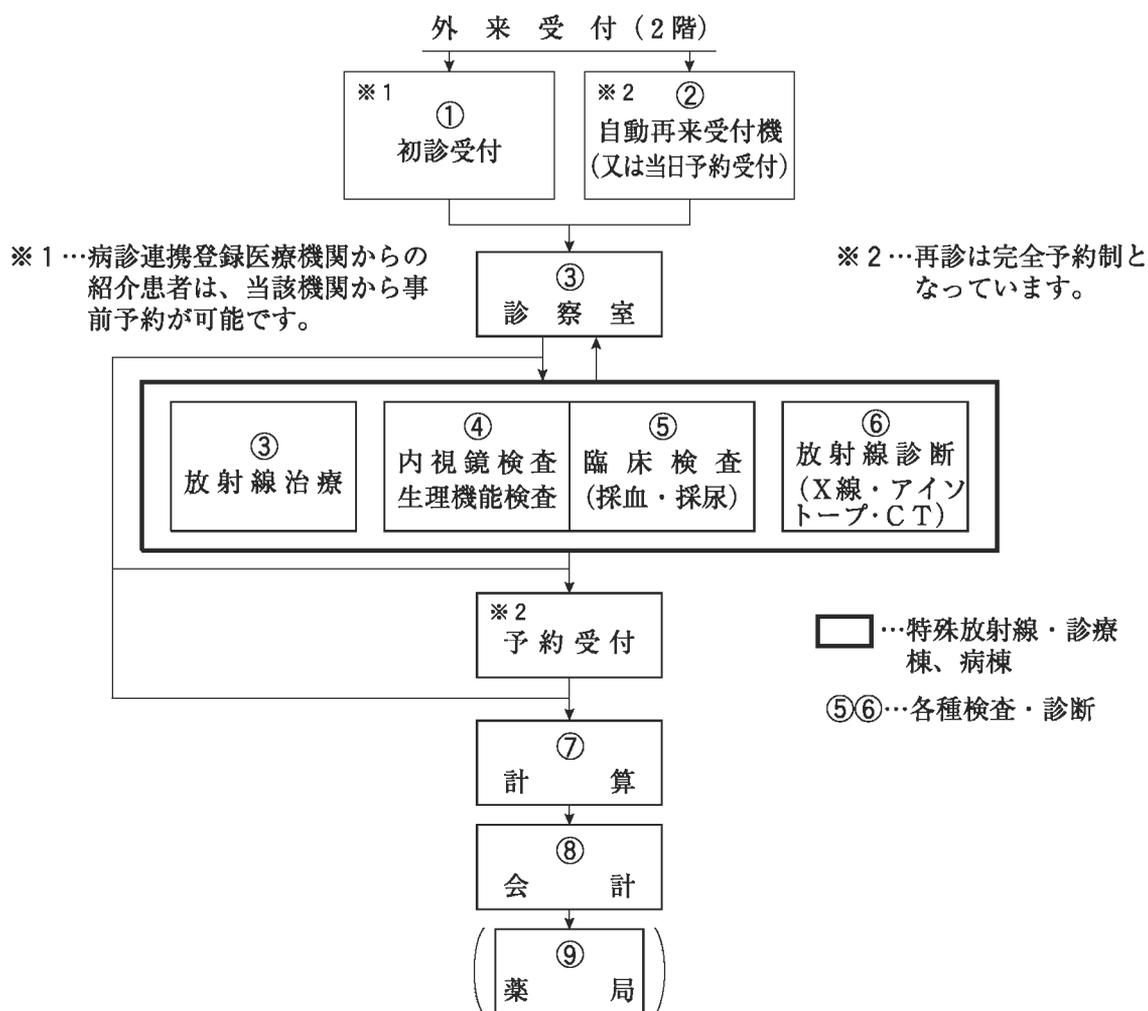
- (1) がんに対する診断・治療と研究が一体となった理想的な基幹病院とする。
- (2) 手術・放射線・臨床検査・化学療法部門の機能を一体化し、集学化を図る。
- (3) 国内外の医療関係者との技術交流を行い、医学の国際交流を推進する。
- (4) 先進医療実施病院として、常に高度な治療を目指す。
- (5) 都道府県がん診療連携拠点病院として、本県の中心的ながん診療機能を担うとともに、医療従事者の研修、地域がん診療連携拠点病院の支援を行う。

診療科目 消化器内科、呼吸器内科、血液内科、薬物療法内科、臨床検査科、病理診断科、循環器内科、頭頸部外科、形成外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、婦人科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、脳神経外科、眼科、歯科、緩和ケア内科 計23診療科

病床数 500床

外来診療経路

- 1 初診患者受診経路……………①→③→(④・⑤・⑥)→⑦→⑧→(⑨)
- 2 再診患者受診経路……………②→③→(④・⑤・⑥)→⑦→⑧→(⑨)
- 3 検査予約者(内視鏡、X線、アイソトープ、CT等)受診経路
……………⑤・⑥→(③)→⑦→⑧→(⑨)



※1…病診連携登録医療機関からの紹介患者は、当該機関から事前予約が可能です。

※2…再診は完全予約制となっています。

□…特殊放射線・診療棟、病棟

⑤⑥…各種検査・診断

外来患者状況

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
診 療 日 数	245	245	243	242	243
初 診 患 者 数	8,208	7,723	6,697	6,193	5,557
患 者 延 数	151,331	152,820	153,514	154,001	149,769
1 日 平 均 患 者 数	617.7	623.8	631.7	636.4	616.3
平 均 通 院 回 数	18.4	19.8	22.9	24.9	27.0
紹 介 患 者 比 率	72.2	71.1	76.9	78.9	80.9
外来化学療法件数 ^(注)	12,722	13,872	16,924	20,577	19,452

(注) 平成20年度以降、治験件数を含む。

入院患者状況

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
患 者 総 数	総 数	9,447	9,723	9,936	10,175	10,020
	繰 越	438	404	375	375	396
	新入院	9,009	9,319	9,561	9,800	9,624
退 院 患 者 数	総 数	9,043	9,348	9,561	9,789	9,594
	死 亡	402	428	429	442	455
	その他	8,642	8,920	9,132	9,347	9,139
患 者 延 数	163,947	159,642	152,710	154,884	154,352	
1 日 平 均 患 者 数	449.2	436.2	418.4	424.3	422.9	
平 均 在 院 日 数	17.2	16.1	15.0	14.8	15.1	
病 床 利 用 率	95.0	92.2	88.5	89.7	89.4	
病 床 回 転 率	21.2	22.7	24.3	24.7	22.7	
死 亡 率	4.4	4.6	4.5	4.5	4.7	

住所地別患者数

区 分	住 所 地	19年度		20年度		21年度		22年度	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
外 来 初 診 患 者 数	愛 知 県	6,013	77.9	5,070	75.7	5,879	77.2	4,229	76.1
	名古屋市	3,006	38.9	2,526	37.7	3,004	39.4	2,256	40.6
	その他	3,007	38.9	2,544	38.0	2,875	37.8	1,973	35.5
	県 外	1,710	22.1	1,628	24.3	1,733	22.8	1,328	23.9
	総 数	7,723	100.0	6,698	100.0	7,612	100.0	5,557	100.0
新 入 院 患 者 数	愛 知 県	6,817	73.1	6,926	72.4	7,312	74.6	7,247	75.3
	名古屋市	3,019	32.3	3,139	32.8	3,278	33.4	3,479	36.1
	その他	3,798	40.7	3,787	39.6	4,034	41.2	3,768	39.2
	県 外	2,502	26.8	2,635	27.6	2,488	25.4	2,377	24.7
	総 数	9,319	100.0	9,561	100.0	9,800	100.0	9,624	100.0

患者給食実施状況

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
入院患者延数	163,947	159,642	152,710	154,884	154,352	
給食数 (配膳延人数)	総数	129,713	125,075	111,096	115,668	121,252
	一般食	108,129	104,415	93,617	97,493	101,263
	特別食	21,584	20,660	17,479	18,175	19,989
給食率	79.1	78.3	72.7	74.7	78.4	

放射線照射回数（診断一直接撮影件数）

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
総数	46,359	46,541	45,778	46,299	45,001
単純撮影	40,279	40,230	39,820	40,378	39,035
造影撮影	5,563	5,398	5,015	4,979	4,988
特殊撮影	517	913	943	942	978

アイトープ検査件数

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
総数	1,687	1,630	1,332	1,235	1,159
センチスキャン	1,384	1,332	1,030	935	840
センチネルリンパ	302	298	292	285	308
動態計測	1	0	10	15	11

(注) センチネルリンパ節の検査は平成17年度より始めた。

コンピュータ断層撮影（CT）件数

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
総件数	13,426	13,808	14,406	14,870	14,861

超音波断層撮影件数

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
総数	7,755	7,556	5,933	5,009	3,595	
部位別	甲状腺	957	914	806	948	588
	乳腺	2,249	2,174	1,375	836	775
	腹部	2,538	2,255	1,674	1,721	1,681
	その他	2,011	2,213	2,078	1,504	551

MRI件数

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
総 数	3,706	3,675	2,948	3,424	3,577

放射線照射回数（治療）

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
総 数	59,488	57,031	55,302	59,864	60,959
放射線治療計画策定件数	1,303	1,236	1,434	1,382	1,384
放射性物質	コバルト遠隔大量照射	0	0	0	0
	R A L S	87	81	80	85
	小 線 源	23	37	25	23
そ の 他	リ ニ ア ッ ク	56,458	54,245	52,454	57,114
	C T	1,117	1,116	1,083	1,067
	シミュレーター	500	316	226	193

一般臨床検査件数

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
総 数	2,599,986	2,685,226	2,817,138	2,927,749	2,791,468
尿 検 査	25,118	26,262	29,086	27,821	27,733
糞 便 検 査	1,823	1,454	1,227	720	747
血液学的検査	835,860	864,467	900,450	923,171	902,890
生化学的検査	1,360,863	1,406,034	1,480,405	1,470,775	1,453,125
細菌学的検査 （監視培養検査）	11,954 (516)	11,978 (536)	15,119 (708)	15,067 (662)	16,309 (905)
血清学的検査 （アイトープ使用検査）	164,246 (1,601)	168,121 (1,643)	181,853 (1,688)	190,445 (1,414)	193,101 (1,740)
病理組織検査	8,366	8,864	8,845	8,389	8,303
癌遺伝子検査	1,085	1,193	1,324	1,547	1,580
細胞学的検査	9,589	9,682	8,619	7,568	7,345
血液ガス検査	4,991	4,427	4,611	3,933	3,699
その他	採血業務	172,132	178,967	181,894	176,977
	治験処理等	3,959	3,777	3,705	3,270

(注) () 内は再掲

機能検査件数

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
総 数	17,094	17,190	16,827	16,338	16,513
心 電 図 検 査	3,608	3,512	3,494	3,685	3,871
負 荷 心 電 図 検 査	1,948	2,016	2,026	1,908	1,864
トレッドミル検査	771	806	686	696	705
ホルター心電図検査	385	390	412	359	381
心臓超音波検査	1,801	1,958	2,071	2,041	2,221
肺機能検査	6,299	6,443	6,736	6,645	6,569
ピロリ菌呼気試験	61	78	65	84	81
聴 力 検 査	79	35	76	119	102
眼 科 検 査	13	0	0	0	0
乳腺超音波検査	2,082	1,950	1,259	796	719
骨塩定量検査	32	2	1	0	0
その他の検査	15	0	1	5	0

(注) その他の検査はベクトル心電図検査、心音図検査、心拍出量検査、脳波検査を含む。

(注) 眼科検査は、以前実施していた検査を看護師が実施することになり、著減しました。

部門別検査件数（県立病院統一件数）

区 分	20年度			21年度			22年度		
	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数
総 数	2,770,758	2,752,371	18,387	2,815,673	2,800,211	15,462	2,624,154	2,608,832	15,322
一般検査	120,851	120,821	30	151,126	151,101	25	20,422	20,403	19
血液検査	610,594	609,753	841	625,139	624,304	835	624,644	623,855	789
免疫血清検査	115,834	111,089	4,745	119,908	115,403	4,505	102,311	97,530	4,781
生化学検査	1,570,412	1,558,878	11,534	1,569,986	1,561,038	8,948	1,560,523	1,551,793	8,730
微生物検査	30,725	29,553	1,172	30,362	29,297	1,065	32,208	31,286	922
病理細胞診検査	120,160	120,160	0	122,248	122,248	0	90,571	90,571	0
生理検査	16,827	16,762	65	16,338	16,254	84	16,513	16,432	81
その他の検査	185,355	185,355	0	180,566	180,566	0	176,962	176,962	0

(注) 愛知県立病院での統一件数集計方式による。

(注) 病理細胞診検査については①②の理由により減少しました。

①写真撮影のデジタル化により、前年度以前との正確な比較が不能となったため、写真撮影枚数を加えなくなった。

②新システム導入により、手術件数の積算方法が変わった。

内視鏡検査件数

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
総 数	9,231	9,358	9,217	9,000	8,849
上 部 消 化 管	5,291	5,188	5,012	4,779	4,820
下 部 消 化 管	2,608	2,617	2,643	2,800	2,627
気 管 支	192	228	162	151	159
膵胆管造影 (ERCP)	346	348	377	415	422
超音波内視鏡 (EUS)	637	734	736	583	555
超音波内視鏡下穿刺生検 (EUS-FNBAB)	157	243	287	272	266

内視鏡治療件数

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
総 数	608	701	842	905	913
食 道 E M R	39	49	44	44	61
胃 E M R	68	73	83	91	82
大腸EMR、ポリペク	247	299	315	355	302
食道狭窄拡張術	178	192	213	203	218
胆道ステント留置術	57	75	131	166	183
乳頭切開術、胆道碎石術	19	13	56	46	67

手術件数

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
総 数	2,494	2,632	2,761	2,663	2,637
頭 頸 部 系	414	440	462	477	438
胸 部 系	734	804	786	766	774
消 化 器 系	758	793	805	703	735
婦 人 科 系	234	269	304	310	300
泌 尿 器 系	136	159	186	191	175
そ の 他	218	167	218	216	215

※各年度、手術室で実施した全手術件数で、外来手術は含まない。

主な部位別手術症例数・特殊治療件数

部 位	20年度	21年度	22年度	部 位	20年度	21年度	22年度	
頭 頸 部 が ん	365	391	406	子 宮 が ん	頸がん	163	156	136
食 道 が ん	50	62	53		体がん	44	53	54
肺 が ん	206	181	199	卵 巣 が ん		44	42	51
乳 が ん	413	394	373	前 立 腺 が ん		45	50	49
胃 が ん	232	195	221	悪 性 骨 軟 部 腫 瘍		45	42	44
大 腸 が ん	360	328	332	I V R		1,851	1,960	1,989
肝 ・ 胆 が ん	83	83	82	造 血 幹 細 胞 移 植	同 種 自 家	9	5	7
膵 臓 が ん	55	43	58			15	14	10

※がんの部位別手術症例数は、各診療科保有のデータによる。

薬剤業務状況

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
		総 数	総 数	総 数	総 数	総 数	
処 方	枚 数	総 数	75,356	76,446	77,728	75,118	75,173
		外 来	9,393	10,638	11,213	9,211	8,574
		入 院	65,963	65,808	66,515	65,907	66,599
	剤 数	総 数	140,058	139,363	138,711	135,593	137,542
		外 来	24,104	23,692	24,442	21,882	19,499
		入 院	115,954	115,671	114,269	113,711	118,043
	延 剤 数	総 数	1,420,783	1,440,644	1,435,099	1,374,632	1,086,309
		外 来	460,337	454,361	466,497	399,375	292,969
		入 院	960,446	986,283	968,602	975,527	793,340
※ 1 治験処方枚数			868	954	836	1,002	
			796	816	779	859	
			72	138	57	143	
注 射	枚 数 (患者人数)	総 数	99,905	101,718	104,148	110,407	104,899
		外 来	18,119	20,008	21,485	22,239	22,330
		入 院	81,786	81,710	82,663	88,168	82,569
	剤 数	総 数	488,535	493,797	494,874	519,211	478,858
		外 来	48,721	56,380	64,337	68,023	64,344
		入 院	439,814	437,417	430,537	451,188	414,514
薬剤管理指導数		人 数	4,063	3,710	2,605	1,912	2,397
		算 定 件 数	5,665	5,102	3,002	2,018	2,640
※ 3 外来抗がん剤調製数		件数(患者数)	9,052	9,967	11,034	14,475	14,453
		剤 数	13,507	15,339	17,262	22,766	21,888
※ 4 外来抗がん剤調製数(治験)		件数(患者数)		418	712	1,315	685
		剤 数		551	1,123	1,706	888
※ 5 入院抗がん剤調製数(治験を含む)		件数(患者数)			50	2,351	8,844
		剤 数			115	3,286	11,866
麻 薬 処 方 せ ん 枚 数			5,228	5,702	5,884	6,916	8,237
麻 薬 注 射 せ ん 枚 数			9,120	11,676	12,345	13,232	16,107
※ 6 T D M 実 施 件 数					93	59	62

※ 1 治験の処方せん枚数は、平成19年度から集計

※ 2 外来抗がん剤調製数は、薬剤師が調製した分のみを計上

※ 3 外来抗がん剤調製数(治験)は、薬剤師が調製した分のみを計上(平成19年度から集計)

※ 4 入院抗がん剤調製数(治験を含む)は、薬剤師が調整した分のみを計上(平成20年度から集計)

※ 5 TDM実施件数は平成20年度から集計

院外処方せん交付状況(平成22年度)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
処 方 せ ん 総 枚 数	4,197	3,709	4,138	4,049	3,888	4,086	3,938	3,956	4,035	3,944	3,946	4,264	48,150
院 内 処 方 せ ん 枚 数(外来)	716	632	792	778	716	902	805	775	763	770	815	886	9,350
院 外 処 方 せ ん 枚 数	3,481	3,077	3,346	3,271	3,172	3,184	3,133	3,181	3,272	3,174	3,131	3,378	38,800
比 率 (院外処方せん枚数/処方せん総枚数)	82.9	83.0	80.9	80.8	81.6	77.9	79.6	80.4	81.1	80.5	79.3	79.2	80.6

平成9年12月2日からオーダリングシステムによる院外処方せんの交付を開始し、平成10年8月から原則的に全面交付

血液使用状況

1. 血液使用量

(単位)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
自 己 血 液	436	372	431	385	325
全 血 液	0	0	0	0	0
赤 血 球 製 剤	4	0	16	2	16
赤 血 球 濃 厚 液	3,783	3,564	4,900	5,578	5,396
凍 結 血 漿	902	995	754	934	684
血 小 板	14,025	12,995	15,980	16,565	15,395
そ の 他	0	0	0	0	0

2. 検査件数

(単位：件)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
ク ロ ス マ ッ チ	2,495	2,250	2,903	3,425	3,195
血 液 型 (A B O)	3,297	3,151	3,309	3,314	3,554
R H 因 子	3,297	3,151	3,309	3,314	3,554
間 接 ク ー ム ス 試 験	7,952	7,677	8,827	9,616	9,198
抗 体 ス ク リ ー ニ ン グ	5,448	5,420	5,913	6,181	5,981
直 接 ク ー ム ス 試 験	15	9	12	17	27

(注) ・全血製剤は血液200mlを1単位、成分製剤は血液200mlに由来する成分を1単位とする。
 ・直接クーモス試験は平成9年度より、臨床検査部から血液管理部へ移管。

死体解剖数

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
死 亡 患 者 数	402	428	427	442	455
解 剖 数	17	20	9	11	5
解 剖 率	4.2	4.7	2.1	2.2	1.1

研究業務

愛知県がんセンターにおいては、がん患者の診断治療を行うのみならず、がんの研究機関としての研究業務も設置目的に含まれており、病院部門における臨床医学的研究と研究所部門における基礎医学的研究と相まって、当センターの機能を発揮しているが、その研究態勢は、

- (1) 研究所における部別研究
- (2) 病院における課題別研究
- (3) 病院・研究所両部門による共同研究
- (4) プロジェクト研究

の4態勢で実施されている。平成23年度における研究課題は、次のとおりである。

研究所における部別研究課題

研 究 所 長	日本と東アジア諸国におけるがんの民族疫学研究
疫学・予防部	<ol style="list-style-type: none">1 がん統計情報の構築に必要な地域がん登録の精度向上を目指した記述疫学研究2 がんの環境要因、宿主要因、および両者の交互作用を解明するための病院疫学研究3 「健康日本21あいち」に基づく愛知県民のためのがん予防啓発技術の開発研究4 がん治療の長期予後(効果)に影響する要因の分析
腫瘍病理学部	<ol style="list-style-type: none">1 難治性がん(難治性消化器がん、呼吸器がん、血液系・神経系腫瘍など)の分子病理学的特徴解析の研究2 難治性がんに対する分子治療学的技術開発の基盤研究3 胃がん・大腸がん発生・増殖進展・転移の分子機序の研究4 病理剖検症例の病理組織学的研究
分子腫瘍学部	<ol style="list-style-type: none">1 肺がんの発症・進展機序の解明と分子標的療法の探索2 中皮腫の発がん機序の解明と細胞生物学的研究3 消化器がんの発症におけるエピジェネティクス関与の解明
遺伝子医療研究部	<ol style="list-style-type: none">1 造血器腫瘍発症機構の分子生物学的研究及び診断治療への応用2 造血器細胞の分化、増殖に関与する遺伝子の血清学的、分子生物学的研究

- | | |
|----------|--|
| 腫瘍免疫学部 | <ol style="list-style-type: none"> 1 腫瘍抗原の免疫学的、分子生物学的検索 2 免疫診断及び免疫治療の前臨床的及び臨床的研究 3 がん免疫治療についての情報収集と解析 |
| 腫瘍ウイルス学部 | <ol style="list-style-type: none"> 1 ヒトがんウイルスの増殖と宿主細胞応答の解析 2 遺伝子組み換えウイルスを用いた発がん研究 3 抗癌ウイルス療法の開発 |
| 分子病態学部 | <ol style="list-style-type: none"> 1 マウスモデルを用いた大腸がんの発生・進展に寄与するシグナル経路と腫瘍微小環境の研究 2 遺伝子改変による難治性がんマウスモデルの作出 |
| 発がん制御研究部 | <ol style="list-style-type: none"> 1 がん細胞周期における新規キナーゼカスケイド 2 新しい中心体及び細胞間接着制御因子群の機能解析 3 部位特異的リン酸化ペプチド抗体の進化 4 がん細胞の細胞骨格・増殖にかかわる遺伝子の遺伝子改変マウスの作製 |
| 中央実験室 | <ol style="list-style-type: none"> 1 食道がん、頭頸部腫瘍の分子遺伝学的研究 |

病院における課題別研究課題

- 1 がん治療におけるインターベンショナル・ラジオロジーの応用についての研究
- 2 治療感受性と再発リスクによる乳癌術後補助療法の選択に関する研究
- 3 臨床検査における各種癌診断手法の改善、開発
- 4 骨軟部肉腫進行例に対する治療法の研究
- 5 尿路生殖器癌の治療に関する臨床的研究
- 6 病理細胞診断における分子腫瘍診断法の研究
- 7 婦人性器癌における術前化学療法に関する臨床的研究
- 8 食道癌に対する術前化学療法に関する臨床研究
- 5 悪性リンパ腫の大量化学療法
- 6 癌患者におけるうつアセスメント用紙活用の確立
- 7 非小細胞肺癌の分子生物学的解析と臨床的意義
- 8 トモセラピーを用いた強度変調放射線治療の臨床応用

病院・研究所両部門による共同研究課題

- 1 肺癌、中皮腫細胞の解析と診断、治療法への応用
- 2 RT-PCR法による腹腔内洗浄細胞診と術後成績からみた網膜切除の有用性に関する検討
- 3 消化器癌に対する超音波内視鏡下生検法の有用性の検討
- 4 がん患者の術後疼痛及びがん性疼痛に関する研究
- 5 機能温存を目指す頭頸部癌の外科治療

プロジェクト研究課題

- 4 課題について公募予定

特許の状況

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
発 明 件 数		13	4	4	6	7
登 録 件 数	年 度 当 初	3	1	3	6	9
	新 規	1	2	3	3	6
	権 利 消 滅	3	0	0	0	0
	年 度 末	1	3	6	9	15
実 施 許 諾 件 数	年 度 当 初	1	3	6	6	7
	新 規	2	4	0	2	0
	満了・解約	0	1	0	1	1
	年 度 末	3	6	6	7	6

研究所欧文原著論文発表件数

(単位：編)

18年	19年	20年	21年	22年
123	118	111	113	109

類似病院との比較

項 目	愛知県	順位	宮城県	埼玉県	千葉県	神奈川県	新潟県	静岡県	兵庫県	
	がんセンター中央病院		がんセンター	がんセンター	がんセンター	がんセンター	がんセンター	がんセンター	がんセンター	
事業開始年月	S39.12.1		S42.4.1	S50.11.1	S47.11.1	S38.4.15	S25.5.1	H14.6.24	S59.5.22	
病床数	500	2	383	400	341	415	500	557	400	
稼働状況	病床利用率(%)	84.9	5	77.4	87.7	76.6	79.9	85.7	85.6	87.3
	平均在院日数(一般)(日)	14.8	4	18.9	15.2	13.9	16.0	13.5	13.1	17.1
	1日平均外来患者数(人)	636	4	298	768	442	565	983	904	615
	外来入院患者比率(%)	99.4	—	66.7	145.1	135.8	136.8	152.1	123.3	116.9
収益状況	入院患者1人1日当たり診療収入(円)	46,086	7	43,797	49,227	49,034	49,383	47,035	51,329	47,767
	外来患者1人1日当たり診療収入(円)	27,310	4	21,060	21,553	31,310	22,600	15,273	28,929	30,665
繰入金の状況	1病床当たり一般会計繰入金額(千円)	5,045	4	4,244	5,153	6,850	6,416	3,242	11,152	2,579
	一般会計繰入金対経常収益(%)	16.9	4	20.2	15.9	20.5	21.0	12.5	26.9	8.5
経営状況	経常収支比率(%)	103.8	2	100.2	102.3	101.5	100.1	105.3	103.0	102.4
	医業収支比率(%)	97.5	1	84.9	88.4	82.2	88.9	95.3	80.0	96.3
	修正医業収支比率(%)	88.6	3	84.9	88.2	82.2	81.1	94.4	79.6	96.0
	職員給与費対医業収益(%)	44.2	1	62.3	51.4	57.7	52.7	50.7	45.4	47.4
	病床100床当たり純利益(△)純損失(千円)	110,256	2	5,291	71,425	47,927	2,503	131,710	66,115	71,212
	病床100床当たり実質損益(千円)	△394,269	3	△419,135	△443,925	△637,070	△639,081	△192,517	△1,049,097	△186,692
病床100床当たり概算キャッシュフロー(千円)	278,830	3	77,440	302,408	236,665	139,945	274,719	401,975	154,429	

注1 数値は「平成21年度地方公営企業決算の状況」から報告値を愛知県が独自に集計・分析したものの転記

注2 「繰入金の状況」、「経営状況」は、研究所に係る数値を含む。

注3 指標の算式は次による。

- ・修正医業収支比率：(医療収益－医業収益中の他会計繰入金)／医業費用×100
- ・病床100床当たり実質損益：(純利益・(△)純損失－他会計繰入金)／許可病床数×100
- ・病床100床当たり概算キャッシュフロー：(純利益・(△)純損失＋減価償却費＋資産減耗費＋繰延勘定償却)／許可病床数×100

注4 分析の詳細は、愛知県病院事業庁のホームページの「事業報告」をご参照ください。

外来診療案内

（平成23年4月1日現在）

受付時間 午前8時30分から午前11時30分まで

診療日（土曜・日曜・祝日・年末年始は休診）

診 療 科	診療内容	診察日
消化器内科	消化器系統	月～金
呼吸器内科	呼吸器系統	月～金
循環器科	循環器疾患	月・木
血液・細胞療法科 薬物療法科	造血器・その他	月～金
頭頸部外科	耳鼻咽喉・甲状腺	月・水・木・金
形成外科		月・火・水・木
呼吸器外科	肺疾患	火・水・木・金
乳腺科	乳腺疾患	月～金
消化器外科	消化器系統・食道疾患	月～木
整形外科	整形外科疾患	月・火・水・金
脳神経外科	脳神経疾患	火・水
泌尿器科	泌尿器疾患	月・水・金
婦人科	婦人科疾患	月～金
皮膚科	皮膚疾患	水
眼科	眼科疾患	金
放射線診断・IVR科	放射線診断・その他	月・水・木・金
放射線治療科	放射線治療・その他	月～金
緩和ケア科	精神腫瘍科	月～金
	リンパ浮腫外来	月・金
	ペインクリニック	水
専門外来	禁煙外来	木

- 1 セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています。（完全予約制・自由診療）
- 2 平成23年4月から胸部外科は呼吸器外科に名称変更し、食道疾患については、消化器外科対応となりました。
- 3 精神腫瘍科及び禁煙外来は、予約のみの対応です。

入院案内

（平成23年4月1日現在）

入院の申込み

- 1 入院希望の方は、すべて外来患者として診察を受け、医師の指示により入院の申込みをしてください。
- 2 入院の申込みは、本人又は代理人の方が身元の確実な保証人及び連帯保証人を引受人としてお選びになり、所定の様式「入院申込書」「身元引受書」に記入して病棟1階入院受付へ提出してください。
- 3 特別室（個室）に入院希望の方は、その旨を係員に申し出てください。

なお、特別室（個室）を利用される方は、下表のとおり室料が必要となります。

区 分	A 室	B 室	C 室	D 室
室料（1日につき）	27,000 円	13,000 円	9,000 円	7,000 円

面 会

- 1 面会は、療養上の都合により次の時間内をお願いします。ただし、病状その他の理由により面会できない場合があります。

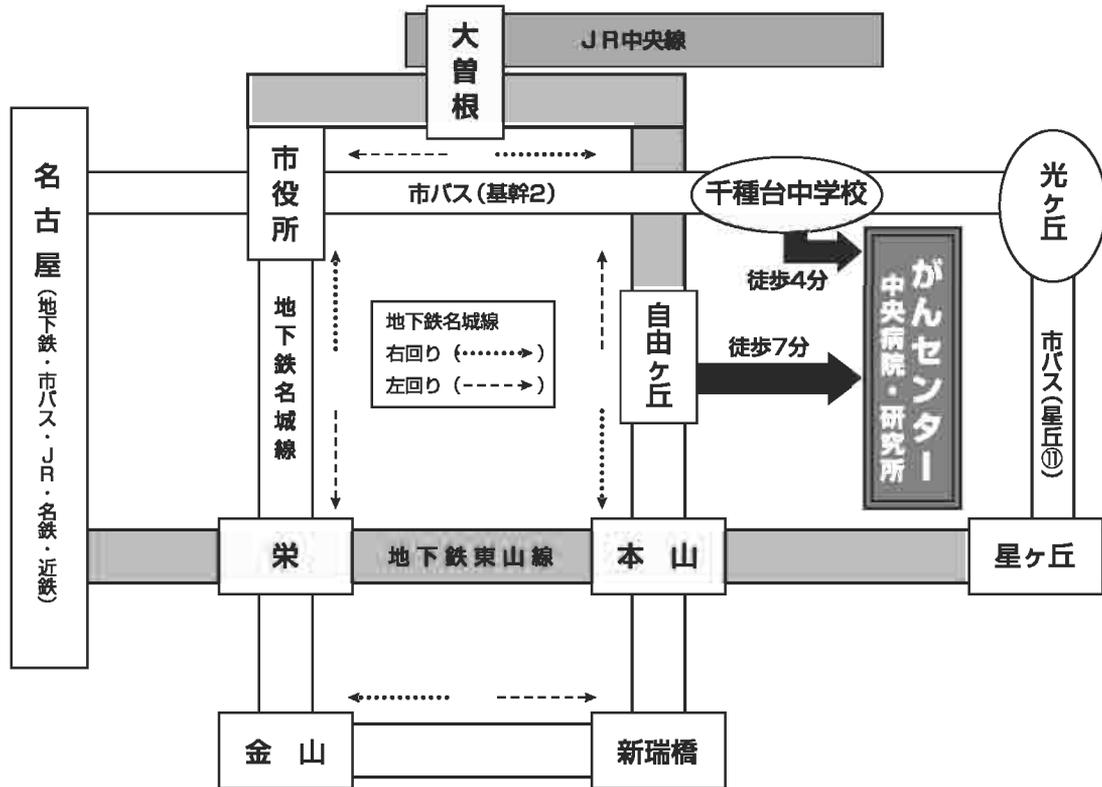
月曜日～金曜日 午後 2時から午後8時まで

土、日曜・祝日 午前10時から午後8時まで

- 2 面会の方は、次の事項をお守りください。

- （1）面会のときは、看護師に申し出てください。
- （2）面会は、他の患者さまに迷惑のかからないよう中央デールーム（面会室）をご利用ください。
- （3）病室内での飲食はご遠慮ください。
- （4）構内は禁煙になっています。
- （5）小さいお子様をお連れになった場合は、他の患者さまに迷惑のかからないようお願いします。

交通案内



地下鉄利用 「自由ヶ丘」2番出口から徒歩7分

- 名古屋・栄から【所要時間：名古屋から約30分】東山線「藤が丘」行き乗車、「本山」乗り換え、名城線「左回り」に乗車、「自由ヶ丘」下車
- 大曾根・栄から【所要時間：大曾根から約20分】名城線「右回り」行き乗車、「自由ヶ丘」下車
- 金山から 【所要時間：金山から約35分】名城線に乗車、「自由ヶ丘」下車

市バス利用 「千種台中学校」から徒歩4分

- 名古屋駅から【所要時間：名古屋駅から約40分】
基幹2系統「光ヶ丘」または「猪高車庫」行き乗車、「千種台中学校」下車
- 星ヶ丘から 【所要時間：星ヶ丘から約20分】
星丘11系統「地下鉄自由ヶ丘」行き乗車、「千種台中学校」下車

自家用車利用 本山交差点から北へ5分、平和公園の北西

- 東名高速道「名古屋IC」から西へ約15分
名古屋ICより、名古屋長久手線（60号線）を西（星ヶ丘方面）へ2,600m進み、「打越」交差点を右折、1,600m先の「猪高車庫前」交差点を左折、1,000m先の「希望ヶ丘4」交差点を左折、300m先の左側
- 名古屋高速道「四谷出口」から北へ約10分
四谷出口より800m先の「四谷通3」交差点を左折、北へ1,500m進み「猫洞通2」交差点を左折、1,300m先の「自由ヶ丘3」交差点を右折、400m先の右側

建物及び医療器械の一部について、年金積立金還元融資により整備しています。

**愛知県がんセンター中央病院・研究所概要
平成23年度**

平成23年6月発行

発行所 **愛知県がんセンター**
名古屋市千種区鹿子殿1番1号
電話 052-762-6111 (〒464-8681)
Home Page: <http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>

印刷 **合資会社 春洋社**
名古屋市千種区神田町30番14号 (〒464-0077)
電話 052-721-5671 FAX 052-723-3745



がんセンター